



菊池っ子だより

Vol.23

市内の各小中学校で行われているさまざまな取り組みをピックアップしてご紹介します。

☎ 学校教育課 ☎ 0968(25)7231

菊池南中学校

4月27日 最高の体育大会を目指して



体育大会のテーマを発表

5月15日に開催する体育大会を前に、全校生徒が集まり結団式を行いました。ことしの体育大会のテーマは「覚醒～歴史を変えろ!南中革命～」です。式では「歴代の体育大会で最も素晴らしい体育大会にする」と実行委員長が宣言したほか、各団の団長・副団長・リーダーの紹介がありました。

菊池北中学校

4月11日 新しい仲間と目標に向かって



新入生氏名点呼

第49回入学式



新入生代表誓いの言葉

ことしは2つの小学校から59人の新入生が入学しました。新しい環境に期待と不安があると思いますが、クラスメートや友達と切磋琢磨して1日1日を大切に、充実した学校生活を過ごしてほしいと思います。

花房小学校

4月12日 最初の授業は交通安全協室



横断歩道の渡り方などを教わりました

4月11日に入学したばかりの新1年生を対象に交通安全教室を行いました。花房校区の交通指導員の米村俊春さんと菊池市交通安全協会の指導員を講師に招き、交通事故に遭わない安全な歩行の仕方や横断歩道の渡り方などを運動場や実際の道路を使って学びました。

隈府小学校

3月23日 未来へ羽ばたけ!隈府っ子



感謝を込めて合唱

感動の卒業式

最上級生として自覚と責任感を持って学校をリードしてくれた6年生91人が、家族や先生など多くの人に祝福され、隈府小学校を卒業しました。式では卒業生一人一人に卒業証書が手渡されたほか、卒業生全員による合唱が披露されると会場は感動の涙に包まれました。

七城小学校

4月6日 七城の歴史を学ぶ



地域の歴史を学びました

地域の歴史を知ることなどを目的に、先生全員が参加して七城地区の名所を巡りました。七城には、歴史的遺産がたくさんあります。地域のことをしっかりと知り、「ふるさとを愛する七城っ子」を育てるための学習に生かしていきます。

渋江松石 (1743~1814)

シリーズ 文教の偉人 ⑤



問い合わせ先 生涯学習課 ☎ 0968(25)7232

近世の菊池文教の祖、渋江紫陽は生涯独身を過ごしたため、伯母の孫に当たる松石を養子として迎え入れました。渋江松石は1743(寛保3)年生まれ、名は公正です。幼い頃から才知に優れていた勤勉家の彼は、父の師でもある加々美鶴灘に、のちに父紫陽について古学を学びました。紫陽の門下生の中でも特に優秀で、父に学ぶ一方、藩校「時習館」の第二代教授戴孤山にも教えを請い、一生にわたり深い学問上の関係を結んでいます。

優れた師に恵まれて学問に励んだ松石は、多くの人々の信頼を得て亡き父の私塾「集玄亭」を継承し、その名を「星聚堂」と改めました。父と同じく古学の思想を重んじていたため、星聚堂の教育においても紫陽の学風を受け継ぎました。1814(文化11)年、72歳で亡くなるまでの23年間に、多くの門弟を育て上げ、門下より桑満伯順、葉室黄華、町野鳳陽、木野静軒など、有名な人材を世に送り出しています。また松石は、父と同じく菊池一族の顕彰(業績を讃え世間に広めること)においても偉業を誇ります。郷土の名勝・旧跡を探求して著した『菊池風土記』の中で、中世の菊池一族の城跡を「菊池十八外城」として紹介しているの



菊池十八外城の方位石

ですが、その名前は今もなお史跡の名称として語り継がれています。さらに、現在は原本が散逸してしまった「菊池武朝申状」の写しを江戸の堀保己一に送り、「群書類従」(※)に採録してもらったことも、彼の大きな功績として挙げられます。菊池武朝申状は、南北朝時代に17代武朝が吉野の朝廷に提出したもので、一族歴代の業績を綴った歴史資料です。松石は、菊池一族の歴史を紐解くのに欠かせない功績を残したと言えるでしょう。

※群書類従とは

日本の古代から江戸時代初期にいたるまでの古書を集成した叢書。堀保己一が編纂。

TOPICS

4月4日 菊池市戦没者追悼式 世界の平和を願いました

平成28年度菊池市戦没者追悼式(菊池市英霊顕彰会主催)が菊池市総合体育館で開催され、遺族や市民約230人が出席しました。

式典では戦没者への思いをはせながら、全員で献花を行いました。誓いの言葉では、前田未結さん(泗水中1年)と徳永結加さん(泗水小4年)が、「いじめや差別を見逃さず、誰もが安全で安心して過ごせる世の中になるよう努力します」と誓いました。



世界の平和を祈り戦没者を追悼しました

5月11日 菊池市第3セクター連絡協議会 本を贈ろう運動

市内の道の駅や温泉施設などの5施設で構成する菊池市第3セクター連絡協議会(杉田貞治会長)が、市内の小学校へ図書カードを贈りました。同協議会は集めたレシート総額の0.1%を還元する「本を贈ろう運動」を平成22年から毎年実施しており、今回で6回目。校長会を代表して隈府小学校の宮川淳一校長に図書カードが贈られました。杉田会長は「今後も子どもたちの健全育成に貢献したい」と述べました。



宮川校長に図書カードを手渡す杉田会長